

ウポポイ(民族共生象徴空間)一般公開始まる

篠宮 章浩 国土交通省北海道開発局 事業振興部 都市住宅課

○2度の延期を経て一般公開へ

国立民族共生公園を含むウポポイ(民族共生象徴空間)が7月12日(日)より一般公開となりました。

平成21年7月「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告において「民族共生の象徴となる空間」の整備が提言され、平成26年6月『「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針」閣議決定で、白老町へ整備とされてから、現場では着々と工事が進められてきました。

当初、一般公開は4月24日(金)とされていましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、5月29日(金)に延期。

ところが、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が5月31日(日)まで延長され、当時北海道は依然として厳しい状況にあることを踏まえさらに延期。

この度、入場日の予約制、サーモグラフィーによる検温など新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針や各種ガイドラインに基づく取組みを十分に講じた上での一般公開となりました。

○コロナ対策下でのプログラム

ウポポイでは、アイヌ文化やアイヌの世界観、自然観、信仰等を幅広く伝えるため、体験交流ホール、工房、体験学習館で様々なプログラムが提供されています。当面は新型コロナ



写真1 オープニングセレモニー



写真2 伝統的コタンの様子



写真3 屋外での舞踊公演

ウイルス感染拡大防止のため定員数を制限したり、整理券を配布したりするほか、舞踊公演も体験交流ホールだけでなく屋外でも行うなど「3密」を避けた内容で実施されています。

○さいごに

愛称「ウポポイ」(UPOPOY)は、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味します。平成30年12月に一般投票で決まりました。

下の縦線の本数は、アイヌ語で「たくさん」を表わす表現にも用いられる数「6」とし、多くの人々が集うことをイメージしているということです。



公開当初から特殊な形での運営となっていますが、約2ヶ月で7万人を超える方々が来場されています。また、これから秋にかけて教育旅行の予約が5万人以上入っているとのことです。

コロナ禍という状況ではありますが、引き続き、国内外の方々にウポポイを訪れていただき、多くの人々が集い、アイヌ文化に触れていただきたいと思います。



写真4 ウポポイ全景

- ・写真1~4 国土交通省
- ・国土交通省北海道開発局 WEB サイト(アイヌ施策)
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ud49g7000000ao02.html>
- ・ウポポイ WEB サイト(公益財団法人アイヌ民族文化財団)
<https://ainu-upopoy.jp/>